

競争と管理の教育

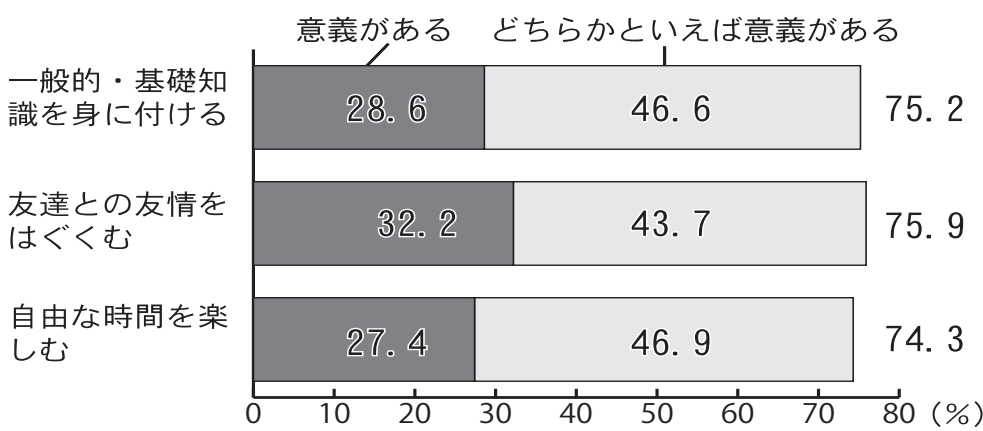
高校生のページ

▶「校則は少ないけど、勉強は先取りで大変」と語る男子高校生(3月3日、渋谷)



学ぶ楽しさ感じたい

学校に通う意義について



内閣府『平成25年度我が国と諸外国の若者の意識に関する調査』より作成

渋谷の街頭で取材に応じた私立高校に通う女性2人(2年)は学校の雰囲気について「にぎやかで楽し

勉強で手一杯

「授業が早く付いていけない」「自分より点数の低い人を見て安心するようなシステムはおかしい」——今大勢の高校生が過度な競争教育に悩まされています。「成績が悪いのは自分のせい」「努力が足りない」と言われ、勉強を押し付けられることに苦しさを感じながら生活する高校生の実態を取材しました。(文中は仮名)



い」と話します。しかし、2人は「周りの人の気持ちはクラス全体がピリピリと緊張している」と話します。「校則は髪型や服装に細かい決まりがあつても厳しい」と話します。また、「理数系の授業は進みが早い。怖い先生が担当で質問できない授業もある」と授業の進み方や教員との関係に疑問を感じていると言います。

進学校で文系コースを選んでいるという男性3人組(2年)は「中高一貫校だから、勉強は基本的に先取り。人によっては1年生から受験勉強して、2年生からは学校の授業も受けるための授業になった」と実態を語りました。さらに、部活をやっているとい

考える時間が欲しい



「隣の席の人と話したい」を促されるのが嫌いだ。「先生が生徒と同じ立場で考えてくれるとモチベーションが上がる」など、高校生が求めているのは「自分で考える時間」だ。授業が早く終わることで、先生と生徒との関係性が悪化している。生徒は「先生が話を聞いてくれない」と話している。

学校の方針改善求める



進学校に通う真実さん(2年)は「1日7時間の授業を進むのも早くてきついな」と話します。「教科書の説明をされて、すぐに問題を10分くらいで解く。理解できないまま授業がどんどん先に進んでいき、考えながらノートを取るの大変」。先生からは予習復習をしっかりやれと言われ、宿題が終わらない生徒も多い。競争・管理させられるから生活して、少しでも勉強に集中できる環境への改善を求めています。学校生活の中で少しずつ抑圧され窮屈な思いをしなが